

避難所の県消防学校に導入

県が公共施設等にLPガス災害バルクを推奨

長野県消防学校（長野県長野市）

LPガス設備で避難所機能充実

長野県危機管理防災課は、長野市の指定避難所である長野県消防学校の屋内訓練場をLPガス災害バルク設置先に選定、導入した。主に土砂災害による避難者の収容を想定したもので、可搬式LPガス発電機や炊き出しセット、LED投光器も併せて導入し、避難所機能の充実を図った。

県は2016年3月策定の「長野県強靭化計画」の中で、**公共施設や避難所への災害バルクユニット設置を推奨**しており、県議会でもLPガス設備整備の推進が採択されたことで、今回の導入につながった。

県消防学校は「地域防災のプロ」である消防職員や団員の教育訓練をはじめ、人命救助訓練や燃焼実験、ドクターへリの連携訓練、山岳救助訓練など専門的な演習を行っている。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (300kg)
- ・可搬式LPガス発電機 (2.2kVA×2台)
- ・炊き出しステーション
- ・LED投光器×2台



長野県消防学校



避難所に指定されている屋内訓練場



災害バルク貯槽